

2021年12月1日 電子版 リニューアル 詳しくはこちら



国際フレイトフォワードーズ協会(JIFFA)40周年特集

500社超の物流企業を結ぶ国際フレイトフォワードーズ協会(JIFFA)「2021年10月」を代表する特集として、北京の西直門を舞台に、約まるがけを誇る会場を模した会場にて、2021年10月28日、会場の空は笑顔で賑わった。

羽田空港物流特集 2021

日本の物流事情で、航空・トラックの両輪を軸とした物流の発展が期待されている。その中でも、羽田空港は、国際物流の玄関口として、その重要性を増している。

- 農水産物・食品輸出物流特集2021
中部圏物流特集2021
危険物輸送・保管特集2021
国際物流イノベーション特集
通関業の日特集
中国特集2021
空の日特集
CEIVファーマ特集
台湾ハブ特集2021
海上フォワーディング特集2021

臨時増刊 物流企業の海外拠点 一覧 2021

ビジネスのための 航空貨物 100.100

ロジスティクス の基礎知識 (改訂第2版)

会計士の見た 上海20年 駐在員の喜怒哀楽

2021年11月26日 19時36分

平野ロジスティクス 緊急輸送など需要多様化に対応 物流倉庫の保税化目指す



平野ロジスティクスの「+1α」

平野ロジスティクスが多様化する顧客の需要への対応を目的に、オリジナル・トレーラーの増強、物流施設の機能強化に取り組んでいる。緊急性の高い半導体製造装置や保守部品の取り扱いに関する顧客からの要望を受ける形で、成田空港外の物流倉庫の保税化を目指している。深夜早朝、土日・祝日など、他の物流施設が稼働していない時間帯の受け入れを想定。厳密なリードタイムが求められる半導体関連貨物の取り扱いを強化する。96インチ仕様のユニット・ロード・デバイス(ULD)を大型トラックよりも1台多く搭載できる「+1」に関しては、より小回りの利く改造を施した新型トレーラーを発注しており、2022年はじめにも投入する計画だ。

平野ロジスティクスの現在のオリジナル・トレーラーの体制は▷大型トラックよりも96インチ仕様のULDを2台多く搭載できる「+2」▷同1台多く搭載できる「+1」▷「+1」に改良を加えて背高貨物などへの対応に柔軟性を持たせた「+1α」▷大型トラックよりもLD3換算で7台多くコンテナを搭載できるとともに複数のパレタイズ貨物を搭載できる「+7」▷「+7」に改良を加えてコンテナを8台多く搭載できる「+8」▷「+7」に空調機能を持たせた「+7COOL」がある。航空機エンジンなどの大型貨物を搭載できる平ボディ・トレーラーも配備している。

さらに年内には「+1」に空調機能を持たせた「+1COOL」が加わるほか、「+1」に改良を加えて、より小回りの利く運行が可能なた「+1SPECIAL」を3台発注している。物流施設も形状も多様化しており、多くの貨物をより効率的に輸送できる体制を強化する。

精密機械関連の輸送に関しては、半導体製造装置やその保守部品の取り扱いが挙げられる。製造装置の輸送に関しては、背高貨物の搭載に強みを発揮する「+1α」が活躍している。装置の製造ラインの保守部品など緊急輸送需要も多く、そのための機能確保に取り組んでいる。

その一環として成田空港外にある倉庫の保税化を目指している。保守部品は特に緊急性が高く、1日24時間、土日・祝日の対応が求められる。自社の物流施設の保税化を目指している背景には、こうした緊急輸送需要に柔軟に対応することがあげられる。通関士も配置するほか、爆発物検査機器も導入。輸送、保税蔵置場、通関、検量に至るまで各種サービスを窓口一つで可能とする体制の確保を想定。半導体製造装置メーカーの需要に対応する。

SEA APAN 2022年 4月20日 ~ 22日

スマート物流 EXPO 物流DX、脱炭素、自動化・省人化のヒントが見つかる! 招待券を申し込む

価値ある物流サービスを テーラーメイドでご提供 M.O.L. 商船三井ロジスティクス

Daily Cargoメルマガ登録はこちら Click

2022年版 海運・造船会社要覧 好評発売中!

- おすすめの特集
東京港開港80周年特集
横浜港特集
成田空港特集
夏季特集2021~激変マーケット動向~
博多港特集
関西物流特集
名古屋税関・名古屋通関業会特集
物流BCP特集2021
医薬品物流特集
アセアン特集

アクセスランキング きょう 前号 過去1週間 11時16分現在 主要上場物流企業<21年4~9月期決算> 9割増収・8割増益、上方修正相次ぐ 中国・コンテナ運賃市況 東南A向け上昇、東西も底堅さ 【展望台】 あす新電子版 オープンします 10月の成田上屋4社 輸入さらに一段増で総量過去最高 「物流人間大賞」に日通・渡邊会長 HMMなど韓国企業 越ハイフォンにコンテナ生

FTZ 実現で日本再生  
敦賀港から取り組む  
規制改革

株式会社 海事プレス社  
KAIJI PRESS CO., LTD.

発行書籍のご案内

電子書籍のご案内

誰でも簡単  
電子書籍  
利用ガイド! 動画版

益子研一取締役営業本部長は「半導体製造装置および保守部品の取り扱い  
は高度な輸送品質、迅速な対応が求められ、お客さまの要望に応えるために自  
社で体制を整備する必要性が高まってきた」と語る。

精密機械輸送に加えて、生鮮貨物の輸送も視野に入れている。日本各地の  
名産品を海外に輸出するための物流工程において、AEO特定保税運送者の強  
みを生かした輸送を検討している。さらにコロナ禍の収束、羽田空港への国際  
旅客便の復便を想定して、両空港間の横持ち輸送の強化に向けた準備を進め  
ている。

現在、成田空港の南部貨物地区にトレーラー（荷台部分）の専用置場を確保  
している。同様の機能を羽田空港にも整備する方針だ。これらスペースに置か  
れているトレーラーに順次、貨物を搭載。貨物搭載が完了したトレーラーをトラク  
ター（ヘッド部分）が適宜、けん引して輸送する。空港現場には専任のオペレ  
ーターを配置。上屋の状況を把握しながら、貨物の積み降ろし、貨物の保管・管理  
状況などを常時、確認する。これによって貨物搭降載の時間に縛られることな  
く、運行を実施できることで待ち時間解消、運行効率向上を可能とする構え。成  
田、羽田間の物流効率化を高めるとともに、環境負荷低減に貢献する。

戻る

産拠点 22年半ば稼働  
へ  
中国—欧州鉄道「中欧班  
列」<10月> 1~10  
月で前年通年超えも混雑  
深刻  
平野ロジスティクス 人  
材育成・社内教育さらに  
充実 CEIV取得へ準備  
着々  
スターラックス航空  
22年2月に福岡線開設  
アメリカン航空 中南米  
向けピークSC拡大

# CRUISE

2022年日本発着クルーズ



秋号発売中 **SON**  
CARGO 動画アーカイブ  
~YouTube~

新聞読者の  
Web会員登録

CARGO プロモーションビデオ  
~女性編~

CARGO プロモーションビデオ  
~記者編~

▲ページの先頭へ

「電子版のお申込み」登録・決済  
新聞のお申込み「決済」確認  
新聞誌各の電子版ユーザーID登録お申し込み  
Daily-Cargoズルマカのご案内

Daily-Cargoとは  
会社概要  
お問い合わせ  
サブスクリプション  
広告掲載

ご購読について  
著作権・コンテンツポリシー  
広告掲載について  
特許権取得について

記事検索  
DATA/ARX  
電子版購読  
ヘルプ  
サイトマップ